

短い時間であれもやれ、これもやれ 準備時間には限りがある！

「伊勢運輸区における日報の取り扱いについて」地本申16号を提出

伊勢運輸区では、区の重点実施項目を設定し取り組んでいます。3月は行路KYを実施することを会社掲示により周知しました。内容は、出発点呼時に行路KYを日報に記載し、管理者に確認をとる事になりました。日報の作成については準備時間に含まれていません。私たち東海労名古屋地本はただちに「申16号」を提出し早急に業務委員会を開催することを申し入れました。

出勤点呼から出発点呼まで10分しかない

今会社で出勤点呼は出勤時間前15分前に受け、10分後に出発点呼を受けるようになっていきます。事故掲示の閲覧、徐行箇所の確認、営業、運転関係の掲示の確認などやることは山ほどあります。それに加え、また新たに行路KYの日報の記載を強要されてはとても時間が足りません。それどころか短い時間の間にやることを増やされた結果、運転や営業に係わる重要な事項を見落とす危険性すらあります。

見落とせば非違行為？

これまで、徐行や事故掲示を見落としたりすれば、非違行為があったとされ指摘されてきています。現場の自己保身から対策に次ぐ対策を実施し、乗務員に負担をかけています。ただちに日報を廃止するよう要求します。

JR東海労名古屋地本申第16号

伊勢運輸区における日報の取り扱いについて

1. 日報を廃止すること
2. 伊勢運輸区で行われている点呼前記入の強要はやめること
3. 日報について会社見解を明らかにすること